



■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

国際ロータリー会長 / ゴードン R. マッキナリー
2690地区ガバナー / 石倉 貞昭

会長 / 清原 正幸 副会長 / 來間 久
幹事 / 松浦 剛司 会計 / 小汀 泰之

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
5月23日	元出雲市教育委員 金築 千晴 様	「子ども達の笑顔のために 大人が出来る事」
5月30日	休会	
6月6日	会員増強・会員維持 委員会	夜間例会 18:30~ ~ 親睦趣味の会 (囲碁・お茶・ゴルフ)
6月13日	国際奉仕委員会	
6月20日	会長 清原正幸	夜間例会 18:30~ 一年を振り返って

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	22	16(6)	68.75

■欠席者

加藤・福田智・川上・木村・杉原・多久和・土江・神田・石原・園山
(黒田/牧野/釜屋/福田/持田/高砂)

■来訪者

なし

■メイクアップ

なし

■次回例会受付当番

(6月6日) 川上 亨/杉原朋之/高砂明弘

(6月13日) 多久和優美/田中浩史/土江光二

■近隣クラブ例会情報(メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	6/17	6/24(-)	松江南	6/17・24
火	出雲	6/18	6/25(-)	松江しんじ湖	6/18・25
水	大社	5/29(-)	6/5・19	6/26(-)	松江 6/19 5/29・6/26(-)
木			(-);	ピジター受付なし	松江東 6/20 6/27(-)
金	出雲南	6/21	5/31・6/28(-)		

■会長挨拶

皆さん、本日もお集まりいただきありがとうございます。本日の例会の卓話は、外部講師として、元出雲市教育委員会委員の金築千晴様がお越しになっておられます。金築さんは、ひらた在宅 SOHO 支援センター ポアネット代表として長年、働く意欲を持った女性のサポートや未来を担う子供たちのために活動されています。ポアネットのホームページを拝見させていただきました。トップページに「人が基本です 人が資本です すべては人から始まります」とありました。まさにその通りだと思います。また、平田商工会議所女性会の会長として、女性ならではの様々な事業、研修会を行い、いかなるリーダーシップを発揮されています。本日の卓話、非常に楽しみにしています。宜しく願いいたします。

ロータリーでは5月は、青少年奉仕月間です。今月のリリースの案内の中に次のような記事が載っていたので皆様ご紹介したいと思います。

寄稿者は、奈良西 RC の会員の下村 ゆかりさんです。地区 RYLA 委員や地区インターアクト委員をされています。青少年奉仕に造詣が深い方のように見受けられます。この方によりますと、地区で平和学習をテーマに、インターア

クターが学校の授業では知ることのできない命の尊さについて学ぶ講演会をおこなっておられます。

講師は、茶道裏千家第15代家元の千玄室大宗匠さんです。皆様ご承知の通り、我々と同じロータリアンです。京都 RC 所属でロータリー日本財団の理事長もおつとめです。

講演内容は、ご自身がどのようにして特別攻撃隊員として訓練を受け、鹿屋海軍基地に赴いたか、戦争当時の状況、実際、特攻していった仲間を想い、戦争が終わった後の慰霊祭での出来事など話されています。

「平和」という言葉を使わない和やかな世の中であってほしい。平和、平和と言っている間は、平和は来ない。当時、私たちが特攻で死んだって平和はくるのか？ 海軍時代仲間であれもやりたかったけど出来なかった。みんなそれが心残りだった。いつでもディスカッションしながら知恵を分け合う。「いのち」とは何か？いのちの「い」はいきること。「の」は生きるためのぞみを持つこと。「ち」は家族の血。自分の命を大切にすることです。と千玄室さんは語られました。さらに、若い力をロータリーに注ぎ、ロータリーの未来の形づくってほしいとインターアクターに呼びかけられました。

「みんながやさしくお茶をたて、勧める。人を見下ろすとか見下すとか差別、区別のない、みんな一緒、平等の世界。みんなが互いに平等の中に楽しく感謝しながら生きていくという姿を作っていくなくてはならない。その未来を持っているのが、インターアクトです。

これは若いインターアクトだけでなく、我々ロータリアンにも当てはまる言葉だと思います。当時の悲惨な状況を考えて、現在我々がいかに恵まれた環境の元、生活できているのか分かります。この現実感謝しなければなりません。と同時に今後この国を担う青少年のためにも守りつなげていく必要があります。

平田 RC では本年度、青少年奉仕委員会を中心に教育講演会を開催いたしました。こちら「生きる意味」や「命の尊さ」を市民の皆様にご紹介いただきました。今後もロータリーは地域のために、青少年の問題に目を向けていかなければならないと思われました。子どもたちに素晴らしい未来が来ることを切に願ひ、本日の会長挨拶とさせていただきます。

■幹事報告

1. 例会変更

○大社 RC 6/5(水) 早朝座禅例会 6:30~ 会場:神光寺
6/19(水) 最終例会(夜間) 18:30~ 会場:ゆたか亭
ピジター受付 11:30~12:30 事務局

2. 休会

○大社 RC 6/26(水) 定款による 受付 なし

3. ロータリー青少年交換プログラム

2025-26 年度ロータリー青少年交換派遣学生募集のご案内

交換地域: アメリカ合衆国・カナダ・オーストラリア

交換期間: アメリカ合衆国・カナダは 2025/8 ~ 2026/7 約1年間

オーストラリアは 2026/1 ~ 2026/12 約1年間

応募資格: クラブ会員が責任を持ち得る家庭の子女

2025/8 末に 15 歳から 18 歳未満の生徒

地区内の学校に在学中、または地区内在住

応募期限：2024/9/13 (各ロータリークラブへの応募期限は8/30)

他 プログラム参加についての詳細は事務局まで

4. 次年度会員名簿(手帳)作成にあたり、今年度名簿に変更のある方は事務局までご連絡下さい。
5. 牧野晴彦様の入会に対し昨日までに異議の申し立てがございませんでしたので入会が決定いたしました。入会式は6/6(木)行います。
6. 本日は皆様「会員満足度アンケート」をお配りしておりますのでご記入の上提出お願い致します。

■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

清原・松浦 (本日卓話、金築千晴様、ようこそ起こし下さいました。スピーチ楽しみにしています。)

恒松 (皆様のご協力を頂き5月19日の出雲市災害復興支援展が無事終了しました。)

大谷 (金築千晴様のスピーチを歓迎申し上げます。日頃より地域の課題解決にご尽力頂いておりますこと心より敬意を表します。)

小汀 (金築様、平田クラブへようこそ起こし下さいました。お話、楽しみにしています。)

田中 (金築様公私ともにお世話になっています。本日のスピーチ楽しみです。よろしくお祈り致します。)

飯塚大 (金築千晴様ようこそ起こし下さいました。よろしくお祈り致します。)

來間 (金築千晴様ロータリーへようこそ。本日スピーチ楽しみにしております。)

荒木 (本日の講演会、よろしくお祈り致します。)

原伸 (金築様、本日はご講演宜しくお願い致します。)

園 (5月25日～29日の日程でベトナム(ハノイ)に行ってきます。村田製作所のベトナム工場見学など楽しんできます。)

遠藤 (先般島根県 LP ガス協会出雲支部の支部長に就任致しました。金築千晴様、本日はスピーチ宜しくお願い致します。)

■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

「子ども達の笑顔のために大人が出来る事」

ひらた在宅 SOHO 支援センター 代表 金築千晴様



本業は自営業でひらた在宅 SOHO 支援センター ポアネットと言い、情報関連のお仕事をしています。

簡単に説明しますと、在宅でお仕事をしたい人にスキルなどを登録してもらい、その方のスキルにあったお仕事を発注し、クライアントさんへ納品する仲介をしています。

起業のきっかけは1999年、旧平田市主催の夢おこし起業大賞で金賞を受賞したこと。そして翌年2000年に起業しました。

当初は、子育て中のお母さんを対象に託児付きのパソコン講習会を開催しパソコンのスキルを身に付けてもらい、その後文字入力などの仕事を受注し在宅で仕事をしてもらっていました。その後は仕事の幅も広がり、ポスターチラシ作成、HP作成、パソコン講習講師などをしてきました。詳しくはお手元のプロフィールに記載しております。

今年で24年目を迎え、当時託児に来ていた子どもは結婚したり、お母さん達も孫守りや介護があたりで、環境も大きく変わってきました。

そんななか、2019年、出雲市から教育委員をしませんか？とお誘いがあり、4

年間勤めさせてもらいましたが丁度コロナの時期と重なり、なかなか思うような活動もできない4年間でした。

教育委員になった当初は、各地区を回り保護者さんとの懇談会を開催したいと思っていましたがそれも叶わぬまま、昨年4年間の任期が終わり、なんだか不完全燃焼だな、とくすぶっておりました。

ですが、この4年間で出雲市の教育や家庭環境など、色々分かった事もたくさんあり、教育委員でなくてもできる事はある！と思い昨年からは少しずつ取り組みを始めた。

今日はその取り組みのお話を中心にしたと思います。よろしくお祈り致します。

まず子どもを取り巻く環境の中で気になっていた事が、3つありました。

1 子どもの食事

2 不登校

3 保護者です。

1 子どもの食事に関して、

現在学童保育の支援員もしていますが、朝ごはんを食べない、または用意されていない、晩御飯も作ってもらえない、あっても菓子パンやカップヌードル、ひとりぼちで食べている子がいる事が分かりました。お腹の満腹は心の満腹にも直結します。

ごはんを食べないと、脳にエネルギーがいかないのでイライラしたり落ち着きかなくなったりもします。子ども達のために私たちが出来ることは何か？と考え有志で子ども食堂を開催することにしました。

2022年4月から月に一度久多美コミセンを借りて開催しています。毎回50人くらいの子どもが来てみんなで楽しく、美味しく、お腹いっぱい食べてくれます。

今は月に1回の開催が精いっぱいですが、昨年度からは親子食堂も年2回開催し、親子で楽しく食事をしてもらっています。今年度からはシルバー食堂も開催し独居の高齢者さんも招いて子どもと一緒に楽しい食事をしてもらおうと計画し先月から開催しました。先月はおひとりの来場でしたが、とても喜んでくださり沢山食べていただきました。

現在出雲市内で27カ所くらい子ども食堂ができています。

お弁当配付形式や、会食形式など形態は違っても、どこもコミュニティの場となっていて世代間交流や悩み相談の場にもなっているようです。

私たちが開催する子ども食堂でも、学校に行きにくい子どもがお料理好きなのでお手伝いさせて、という事で毎月来てくれて、楽しそうに料理を作ってくれています。

居場所作りや経験という部分でも役に立っていると思います。

ただ、どこも財政的に厳しくボランティアでやっているの、継続的に開催するためには食材のご寄付などのご支援があると非常にありがたいです。

その他気になる事として、ひとり親世帯の子どもの食事問題があります。

昨年からは出雲市内にも一人親世帯向けの24時間開いているフードバンク、コミュニティフッジというところが出来ました。

出雲市のひとり親世帯のうち低所得のため、児童扶養手当を受給しておられる数は1,400世帯にのぼります。その数は総世帯数の2%(50世帯に1世帯)あたり、親子あわせて3,550人が経済的に困難な状況にあると推計しています。

そういった家庭の中には「おやつはぜいやく品、遠足の時しか買ってもらえない」という子どももいます。保護者さんの中には「給食がない長いお休みが心配。お米があるだけでも安心する。と言われる人もいます。

その現実を知り、私たち出雲の有志で作っている無限大プロジェクトという団体でフードバンクを開催し、コミュニティフッジさんに定期的に寄附させていただいています。そういった現実を沢山の人が知っていただき、心ごとめ、できる事から活

動して欲しいと思っています。

2つ目の不登校についてです。

教育委員をしていた4年間で、一番驚いたのが不登校の子どもが毎年増えていた事です。全国では30万人、出雲市では小中併せて600人近い子どもが不登校となっています。島根県は、児童生徒数1000人あたりの不登校率は全国で3位です。原因はさまざまだと思いますが、学校に行っていないことで、苦しい思いをしている子どもが大勢いるということは確かだと思います。

学校に行かないことが選択肢の1つであるとしても、それを選ぼうとすると、現状ではフリースクールは無料ではありませんし、経済的側面ほか様々な面で、苦勞を伴います。

出雲市の教育支援センターの定員はわずか60人、残りの子どもたちはどのように過ごしているのでしょうか？

学校が時代の価値観を柔軟に吸収してできるだけ多くの、多様な子どもたちの受け皿になれるよう変わる必要があると思いますが、現実にはすぐに変わるとい事は難しいと思います。

ただ、昨今は保護者当事者の会や民間の支援団体も、様々な取り組み、活動を行っていますので協力しあって進めていくことができると考えています。

先に申しましたプロジェクトも保護者の会や支援団体、フリースクール主催者さんと協力しあい、出雲市の現状や、情報を広く提供していくことを目的に2月におせっかいマルシェを開催しました。行政、社協さんにも参加してもらい相談ブースでは、当事者の会やフリースクールの情報提供を行い、誰でも気軽に参加できるようにマルシェも同時開催したところ、3500人の来場者がありました。

この数字は皆さんの関心の高さを表しているのではないのでしょうか？

学校に行かない事は決して悪い事ではなく、現在子ども達に学びの場・体験・経験の場(算数や国語ではなく)を提供していない大人に責任があると思います。

今後は官民が協力しあって知恵を出し合ってこの問題に取り組んでいきたいと思っています。

3つ目の保護者についてです。

先の不登校の話にもつながりますが、子どもが学校に行かないと、低学年の場合は特にそうですが、子どもに留守番をさせて仕事には行くことは難しいと思います。私が知っている当事者の保護者さんは仕事を辞められました。あとは在宅の仕事に変わった、など保護者も環境を変えざるを得ない状況になります。収入が減る事により、食事の問題やその他色々な問題も出てきます。

不登校でなくても、仕事の変化や自分の体調などで経済的に困窮して入学などの準備が難しいという保護者さんいらっしゃいます。

中学入学時は制服、体操服、自転車などで20万くらい必要です。高校も同様です。

経済的にも困っている、という事をお聞きして、少しでもお役に立ちたいと思い、2月に開催したおせっかいマルシェでは、卒業して着なくなった中学、高校の制服や体操服を持ち寄ってもらい、その後譲渡会も開催しました。

譲渡会では沢山の人が来られて、50着くらいの制服を持って帰ってもらう事ができました。

今まで、こんな譲渡会は無かった、とても助かった、これからも定期的に開催してほしい、などの声がたくさんあり、こんなに反響があった事に少し驚きました。

ただ、この活動の中で私が一番心を痛めたのは入学式を目前にしても制服のお金が準備できず、やりやりで公的機関に相談される保護者さんいらっしゃいます。私にも入学式の2日前に「制服がありませんか？」と学校の先生から電話がありました。あいにく合うサイズが無くて譲渡できなかったのですがその後のその子がとても気になっています。

親に気を遣って「いいよ、制服無くていいよ」という子もいるようですが、制服無くて学校に行けるはずがありません。この子たちはどうするのでしょうか？

あくまでも私の想像ですが、学校に行かない、という選択をする子どももいるのではないのでしょうか…。

そんな悲しい選択はあってはならない事です。

今後は定期的に開催して譲渡会を定着させ、せめて制服だけでも準備が出来るよう、困った時いつでも相談・対応ができるようにしていきたいと思っています。

そして、ありがたいことに今年度から平田中学校 PTA さんが制服リサイクル活動を始める事になった、と聞きました。

このような活動が広く広がっていく事を願っています。

今はネット社会で様々な情報が飛び交っていますが、人間関係は希薄な時代だと思います。困っていても声を挙げられない、相談する人がいない、どこに、だれに相談してよかわからない、という状況ではないのでしょうか。

昔ならどこでもいた、おせっかいなおばちゃんのような存在が必要ではないでしょうか？

私たち無限大プロジェクトは「少しのおせっかい、おすそわけ、おたかいさま」をコンセプトに活動をしています。

おせっかいをするためには、まず自分たちが現実を正しく知る事。そしてそれを広く皆さんに伝える事だと思います。沢山の人が現実を知る事で、近くに困っている人がいれば、情報を教えてあげることが出来ます。少しのおせっかいで、助かる人がいるかもしれません。

私は人前で話すことが苦手ですが、この現実を広く知ってもらうために今回のお話をとお受けしました。

沢山の方に、出雲の子どもを取り巻く状況を知っていただき、心こめて頂き、おせっかい、おすそわけ、お互いさまの気持ちを持っていただきたいと思っています。今後の展開ですが、皆が気軽に集まれる第三の居場所作りを考えています。学校に行きにくい子ども、その保護者、子育て中のお母さん、高齢者の方々、など。

世代や境遇など関係なく、自分がありのままにいられる場所の提供、そして自分を見つめ直すことができる場所。様々な体験ができる場所を考えています。例えば、子どもたちが畑を作り(もちろん、地域の方に作り方を教えてもらいます)その野菜を使って、子どもが作る子ども食堂を開催したり、地域の職人さんたちに来ていただき様々な職業体験ができる場所を提供したり、子育て中のお母さんがちよつと休みに行けたり、そこには様々なコミュニティが存在するような場所になりたいと思っています。

子どもが子どもらしく、屈託なく笑っている社会、大人も子どもも自分の存在を否定されない社会、寛容な社会を目指していきたいと思っています。

今後皆様にもお知恵やお力を貸していただく事も多々あると思います。

その時は何卒宜しくお願いいたします。